

社会共創学部アセスメントプラン

1 アセスメントの目的

学生や社会の状況を捉え、データに基づくカリキュラムおよび個々の授業、そして学習支援の改善を継続的に行うことを目的として、学修成果のアセスメントを行う。アセスメントにあたっては、直接評価と間接評価の双方を取り入れる。前者については成績や学籍異動の状況に関するデータを収集し、後者については全学生に対して毎年実施するアンケートを中心にデータを収集する。アンケートについては縦断的な調査を行うことにより、総体としての学生の状況だけでなく個々の学生における能力や学習状況の変化を追跡する。これにより、個々の学生に対する学習支援の改善を行う。さらに、成績評価の結果や学籍異動の状況に関するデータと併せて分析することで、休学・中退や成績不振の予測などへの活用を図る。

2 達成すべき質的水準

達成すべき質的水準は、社会共創学部のディプロマ・ポリシーにおいて定めている。ディプロマ・ポリシーにおいては学生が、様々な地域社会の持続可能な発展のために、多様な地域ステークホルダーと協働しながら、課題解決策を企画・立案することができ、サーバントリーダーシップを発揮して様々な地域社会を価値創造へと導く力（＝「社会共創力」）を備えていることを期待している。また、諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続けていること、広範な学問領域における教養や専門的知識を身に付けていること、文理融合の学際的思考から総合的に判断・行動できる実践力と専門力を兼ね備えていることを期待している。

社会共創学部の学修ポートフォリオシステム「eCrip」で学生は、日頃入力した正課教育、準正課教育、正課外活動等における学修歴や学修成果物をもとに、半期ごとに自らの学修成果を振り返り、ディプロマ・ポリシーの達成度を自己評価している。教員はこの eCrip 上で適宜コメントしながら学修を支援し、卒業年次には学位認定科目群の「社会共創演習Ⅱ」の成績評価に反映させることとしており、ディプロマ・ポリシーの達成が卒業要件となっている。

3 アセスメントの方法

No.	名称	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	手法	実施責任部署	結果の活用方法
1	新入生アンケート	毎年 4 月	1 年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	Web アンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援や初年次教育などカリキュラムの改善、自己点検・評価、情報公開に活用。
2	学年末アンケート	毎年学年末	全学年	学習行動、授業・カリキュラム満足度	Web アンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用。
3	卒業予定者アンケート	毎年 1-3 月	4 年生	在学中の状況、愛大学生コンピテンシーの習得状況、DP 達成度	Web アンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用。
4	成績不振学生の調査	毎年 2 回	全学年	学業不振の状況 (GPA、修得単位数、休学者数)	修学支援システム	教育・学生支援機構／各学部／各学科	各学部が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用。
5	休退学調査	毎年 1 回	全学年	休学者数、退学者数	修学支援システム	教育・学生支援機構／各学部	各学部が教育学生支援会議に報告し、各学部の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用。
6	卒業者の進路状況	毎年 1 回	4 年生	卒業者の進路 (就職率、県内就職率、進学率)、就職支援への評価	修学支援システム	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用。
7	学修ポートフォリオ(eCrip)	毎年 2 回	全学年	各 DP 達成度の自己評価や改善すべき課題	eCrip	学部／各学科	eCrip への入力状況や、DP に示されている各分野の達成度を検証し、学習支援およびカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
8	授業評価アンケート (学部が指定する科目について実施)	毎年	学部学生	学習成果についての設問 (DP1-7 に対応)	修学支援システム	学部・教務委員会	教員は学生アンケート結果をフィードバックする。また、授業改善のための参考資料とする。
9	就職先アンケート	3 年毎	就職して 3 年が経過した企業等	学習成果についての設問 (DP との関連を含む)	Web	学部・就職支援委員会	教育改善およびカリキュラムの見直しのための参考資料とする。

10	資格取得状況	毎年	資格取得関連の専門科目	資格取得状況 単位取得状況（社会調査士）	社会調査士申請状況(WEB)	学部・授業担当教員	資格取得状況を分析し、学生の希望通りの取得状況への改善に役立てる。
11	GPA 分布状況	毎年 2 回	全学年	学業成績の状況（GPA）	修学支援システム	学部	教育や学修が CP に則って適切に進められているかを検証し、学習支援およびカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
12	フィールド実習報告書	毎年	フィールド実習履修者	フィールド実習の成果をとりまとめる	報告書作成（ないし成果発表）	授業担当教員 / 地域ステークホルダー	教育効果を測る基礎資料とする。地域ステークホルダー、学部教員に配布し、学習支援およびカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
13	シラバス点検	毎年	専門教育科目の担当教員（非常勤を除く。）	「授業の到達目標」が DP（カリキュラム・チェックリスト）に対応しているかなど	シラバス原稿	教務委員会・授業担当教員	DP に沿ったカリキュラムとなっていることを確認し、シラバスの記載に不備がある場合は、教員に加筆・訂正を求めることでカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
14	学部長と学生との懇談会	毎年	学部学生・学部長等	教育支援・設備環境の問題点	学生との懇談	学部	教育支援環境のソフト・ハードの改善・整備について意見交換し、学習支援およびカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
15	学生と教員との懇談会	毎年 1 回	学部学生・教員	キャンパスライフ、カリキュラム満足度、大学・学部への要望	意見交換	学部 / 学科	学部、学科の教育等について各学科で懇談会を行い学生から要望等を聞き取り、関係各委員会に報告し、学習支援およびカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用。
16	卒業生に対する追跡調査	毎年 1 回	卒業後 3 年経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	Web アンケート	教育・学生支援機構 / 教務委員会	教育・学生支援機構が教育学生支援会議に報告し、学部のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用。